



愛され続けて60年 「カットバン」の歩み

祐徳薬品工業のカットバンは、今年で60周年を迎えました。
粘着技術の発展と共に、さらに進化を続けています。



カットバンの誕生

傷ケアの常識を変えた

優れた殺菌効果と高い粘着力のある救急絆創膏「カットバン」が登場して今年で60年。昭和36年に外用貼付剤のメーカーの技術をいかして、従来より販売していた白色織布を用いた巻絆創膏「ユートクバン」に、アクリノール、スルファジアジンの殺菌剤配合のガーゼを乗せ、使いやすいサイズにカットしたのが「カットバン」の始まりです。製造機械を自社で開発、製作し、全国に先駆けて製造・販売した「カットバン」は、切り傷、すり傷、化膿性創傷などに優れた効能を表し、それまでのガーゼ、包帯などに代替される革命的な商品の出現となりました。



60年の進化

時代の求める姿とともに

昭和30年代の高度成長期の中、カットバンの市場評価は特に主婦層を中心と高まっていましたが、反面、水濡れによる剥離や見た目のスマートさに欠けるなど課題も表面化しました。発売から10年後には、貼っても目立たない特殊加工のプラスチックフィルムを使用した「カットバンA」が登場。昭和50年には、肌なじみがよく手足の関節などにもフィットする「伸縮カットバン」が、特に工場、工事現場、農作業などの職場で好評を博し、広く愛用されるようになりました。以後、様々なシーンや用途に合わせ、多様な種類、サイズのカットバンを世に送り出し続けています。

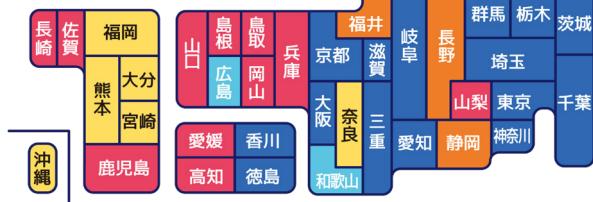


まるで方言?! 「絆創膏」呼び方マップ

絆創膏(バンソウコウ)の呼び方は、実は日本全国、地域によって違うことをご存じですか?

「カットバン」は祐徳薬品工業の登録商標ですが、地域によっては絆創膏の代名詞として使われているようです。絆創膏の呼び方が地域によって違うのは、なんだか方言みたいで面白いですね!

- 絆創膏
- カットバン
- バンドエイド
- リバテープ
- サビオ
- キズバン



祐

祐(たすく)とは、助ける、守る、天からのご加護等という意味があります。
少しでも先生方の助けになればと思い、創刊致しました。

[たすく]第37号 2021年10月号 [制作] 株式会社 ITP

祐徳薬品工業株式会社

〒849-1393
佐賀県鹿島市大字納富分2596番地1
TEL.0954-63-1231 http://www.yutokuyakuhin.co.jp/